

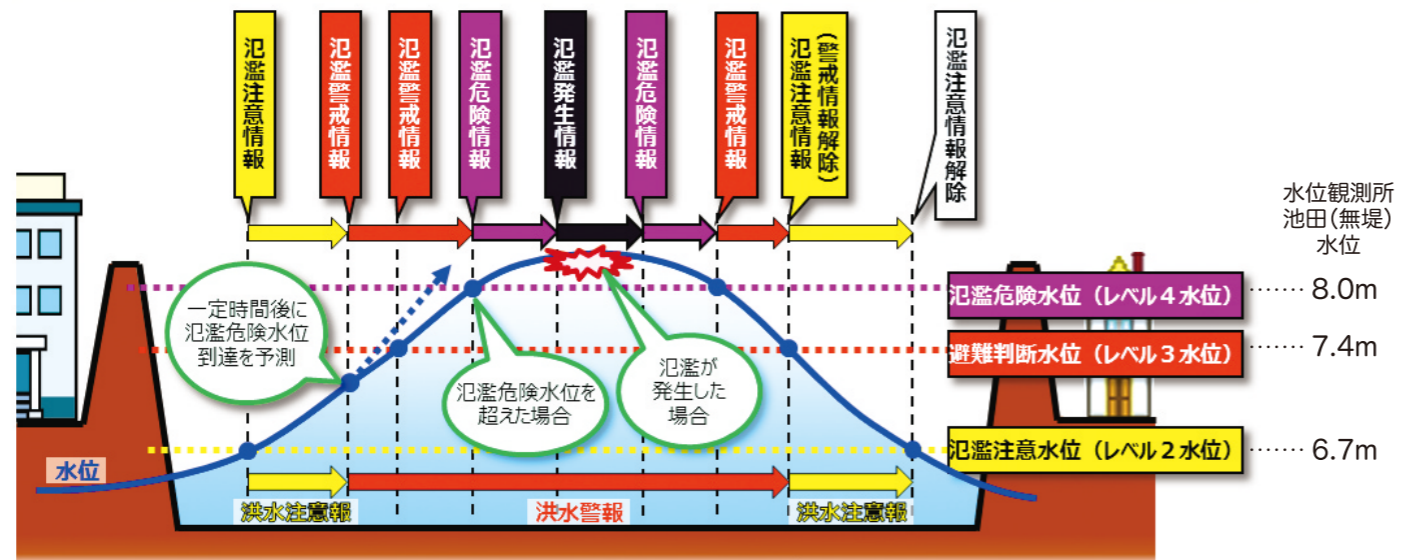
洪水 大雨(浸水害) 暴風 大雪

梅雨前線や秋雨前線の停滞、台風の通過などによって、広い範囲で長時間にわたって大雨が降ることがあり、こうした大雨によって河川の氾濫などが発生します。また、線状降水帯による集中豪雨にも注意が必要です。

吉野川の水位情報と洪水予報

洪水予報河川に指定されている吉野川に関して、その水位情報に基づき、国土交通省徳島河川国道事務所と徳島地方気象台が、共同して氾濫注意情報などの「洪水予報」を発表することになっています。

洪水予報の標頭(種類)	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
吉野川氾濫発生情報(洪水警報)	氾濫の発生(氾濫水の予報)	氾濫水への警戒を求める段階【警戒レベル5相当】
吉野川氾濫危険情報(洪水警報)	氾濫危険水位(レベル4水位)に到達	いつ氾濫してもおかしくない状態避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階【警戒レベル4相当】
吉野川氾濫警戒情報(洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位(レベル4水位)に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位(レベル3水位)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階【警戒レベル3相当】
吉野川氾濫注意情報(洪水注意報)	氾濫注意水位(レベル2水位)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求める段階【警戒レベル2相当】



気象庁ホームページ「指定河川洪水予報」ページより(一部加筆)

避難のタイミング

ハザードマップを確認

普段から自宅周辺の洪水・浸水害ハザードマップを確認し、水害リスクを知りましょう。

情報を収集する

大雨の際は、気象庁の洪水キキクル・浸水キキクルやNHKのデータ放送で川等の現況を知るとともに、市の避難情報に注意しましょう。(雨の日は常に最新情報をチェック)

早めの避難

避難情報等に基づき早め早めの避難を!

避難のポイントはP13.14に掲載 マイ・タイムラインの作り方はP15に掲載

外水氾濫と内水氾濫

外水氾濫

大雨により川の水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が決壊したり、堤防を越えて水があふれ出すことで発生します。

内水氾濫

吉野川の水位が上昇し、樋門の閉鎖などにより雨水が排水できなくなり発生します。美馬市でも過去に多く発生しており、平成16年台風23号では広い範囲で浸水被害が発生しました。

池田ダムの放流情報

梅雨や台風の季節は川の水が増え、池田ダムからいつもより多い量の水を流す場合があります。放流量が500m³/sを越えると予想される場合は、次のとおりサイレンが鳴りますので、鳴った場合は、川に近づかないなどの安全行動をとってください。

放流量(毎秒)	毎秒500m ³ 放流予想	毎秒5,000m ³ 放流予想	毎秒11,100m ³ 放流予想	急激な河川水位上昇予想
サイレンの鳴り方	3回	6回	緊急効果音+9回	9回
予想される状況	河川敷や中州が浸水する可能性	水位が大きく上昇し、支川が氾濫するおそれ	平成16年台風23号と同規模の浸水が発生するおそれ	上流部の大雨等により河川の水位が急激に上昇
対応行動等	すぐに安全な場所へ移動	河川周辺に近づかない	大規模な浸水被害が発生するおそれ	河川内からただちに避難

放流量については



リアルタイムダム諸量一覧

過去に大きな内水氾濫の要因となった次の3つの樋門については、閉鎖時に音声告知放送端末及び屋外スピーカーを通じて閉鎖をお知らせします。

城の谷樋門(脇町) 土井谷樋門(脇町) 明連川樋門(穴吹町)

氾濫水の特徴

⚠️ 氾濫水は勢いが強い

氾濫水は、勢いが強く水深が膝程度あると大人でも歩くのが困難です。

⚠️ 氾濫水は濁っている

水の中を移動する際は棒で足元を確認し、道路の中央を歩きましょう。

⚠️ 水深と車での走行

浸水深が30cm以上ある場合は車の走行が困難となります。

内閣府「避難情報に関するガイドライン」、国土交通省「水害ハザードマップ作成の手引き」より

暴風災害と対策

暴風によるリスク

- 風速20m/s以上の風で歩行者が転倒したり車の運転に支障が出始め
- 風速40m/s以上を越えると電柱が倒れたりすることがあり停電にも注意が必要

事前対策

- 自宅及び周辺の点検
- 窓ガラスに飛散防止のフィルムを貼付

暴風が近づいたら

- 飛ばされそうな物の収納
- 不要不急の外出の控え

気象庁「大雨や台風にならなくて」より

大雪災害と対策

大雪によるリスク

- 停電や電話の不通
- 倒木による道路の不通
- 車の立ち往生

事前対策

- 流通障害に備えて水・食料、燃料などを備蓄
- 持病の処方薬を切らさないよう、少し早め(多め)に持つ
- 車の装備(チェーン)の見直し



内閣府「市町村のための降雪対応の手引き(予防編)」より